

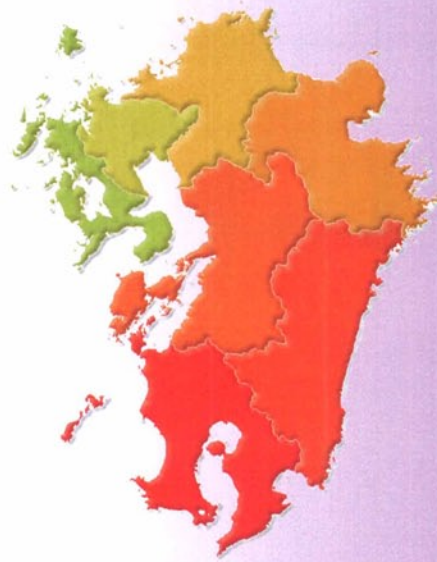


試験に使用した機材

九遊商からの お知らせ

No.28

遊技機取扱主任者実技研修試験開催



九遊商（石山敬達理事長）は5月12日午後1時から、九遊商ビル3F会議室で第1回遊技機取扱主任者実技研修試験を開催。今回は14名の受験者があった。

遊技機取扱主任者実技研修試験とは、九遊商傘下組合員の遊技機取扱主任者の中でQRシステムへの登録希望者に対し行われるもので、筆記試験と実機を使用した実技試験が行われ、合格者のみがQRシステムへの登録を申請することが出来る。

今回、他地区の商業組合に先駆けて始められた試験であるが、石山理事長は「中古機流通制度への信頼を

更に高める目的で開始しました。これまで遊技機取扱主任者の資格を持つていれば、実際に点検確認作業をしない者でも、作業の経験がなくても、申請があれば一応全て登録していました。しかし今日我々に求められているのは中古機流通制度における作業の完全履行です。やはり、登録した者は点検確認の項目を熟知し、実機の点検確認のポイントを正確に知っておかなければなりません。取扱主任者には、資格を取った時の知識を再確認してもらう意味で、筆記試験も実施しました」と今試験の目的を話した。

試験の内容について、山本龍彦副理



試験官を務める理事たち



試験前の説明を受ける受験者

理事長は「これは、点検確認に必要な知識と技量が備わっているかを確認するための試験であり、今までの点検確認作業を正しく実施していれば決して難しい試験ではありません。また万一不合格となっても翌週には再試験を行いますので、一定の能力を身に付けて頂ければ業務への影響は最小限となるはずです」と語った。

試験は4名〜5名のグループごとに約1時間で行われ、岩下卓世副理事長から約10分のオリエンテーションが行われた後、筆記試験約10分、実技試験約20分、総括約5分で終了。各々1名の受験者に1名の理事が試験官として付き執り行われた。

受験者達は始めての試験ということもあり、緊張した様子も見られたが、試験官役の各理事達も真剣に試験に取り組んでいた。また今回は最初の試験ということで株ジーティネットの小川直也氏と井上直剛氏にも試験官として加わってもらった。



実技試験の様子

次回試験は6月21日、22日に博多サニールズホテル(福岡市博多区)で予定されており、他地区の商業組合からも視察に訪れる予定である。

■試験官の理事(順不同)

岩下卓世副理事長、山本龍彦副理事長、高橋二美理事、金原信二理事、伊藤繁光理事、半田光明理事、松原祐一理事、西川隆博理事、上原武治理事、佐藤公博委員、山田和男委員、小川直也氏(ジーティネット)、井上直剛氏(ジーティネット)